

CPR+AED+OFA(酸素ファーストエイド)とは

海や河川といった水辺での活動は、大変楽しく興味深いものがあります。自然に触れ、学び、日々の暮らしに清新さを取り戻すことは、充実した暮らしには欠かせないものです。

とはいえ、人は水中では生命を維持できるようなにはできていないため、海辺での活動には危険も伴います。そのため、海辺・水面・水中での活動では、溺れないための予防が必要になります。

たとえ十分な対策をとって活動したとしても、絶対に事故が起こらないという保証はありません。万一の事態が生じた時に、一般的な応急手当、心肺蘇生法（CPR）、自動体外式除細動器（AED）とともに補助的に酸素を使って人命救護を実施し、救急隊あるいは医療機関に引き継ぐことが重要です。

酸素を補助的に使う応急手当（酸素ファーストエイド）は、ウォータースポーツの指導者、海辺やプールでの監視員、水遊びを企画・運営するリーダー達、遊漁船やダイビング船の船長や乗組員など、ウォータースポーツ活動に関わる全ての人に有効な知識と技術であるといえます。

安全を期して十分な予防措置を講じた上で、万一にも備えていれば、海辺での活動をさらに安全に行うことが出来るでしょう。

本プログラムは、海辺での活動で、補助的に酸素を使って応急手当を行う一般市民向けの講習であり、応急手当、CPR、AEDの有資格者に対して、酸素ファーストエイド（OFA）の知識と技術をトレーニングするものです。ウォータースポーツ愛好家をはじめ、海辺の活動に従事している人たちにとって、救命のカギとなる資格の一つとあってよいでしょう。

ウォータースポーツのための酸素ファーストエイド



+



心肺蘇生法（CPR）
体外式自動除細動器（AED）

酸素ファーストエイド（OFA）

『医療用酸素の使用は「医療行為」にあたり、医師でもないものが反復継続する意思をもって行えば、医療法等 17 条違反となります。しかし、救命や救護のため緊急やむ得ない措置として行うものであれば、医師法違反にならないものとする。』

そのような見解を厚労省 医政局から引き出すことができました。

2016年5月

<< 資格の紹介（資格の種類と内容） >>

<酸素ファーストエイドトレーナーコース>

酸素インストラクターを養成する資格を付与するコースです。もちろん、酸素プロバイダーの講習も可能です。

すでに酸素インストラクターを取得していて、一定の教育経験を有する人に、酸素インストラクター・トレーナー資格が与えられます。講習は、ワークショップ形式で行われ、酸素インストラクターに指導して、どのようにプロバイダーを養成するかを中心に論議します。酸素に関する諸情報、我が国の法的規制、酸素の運搬や保管についても検討します。8時間程度のコースです。有効期間は2年間です。

<酸素ファーストエイドインストラクターコース>

酸素プロバイダーを養成する資格を付与するコースです。酸素トレーナー資格を得るために必須の資格です。酸素プロバイダーを養成することができます。

ファーストエイドや心肺蘇生法（CPR）の資格を持ち一定の教育経験を有する人に、酸素を補助に使うファーストエイドを教える資格が与えられます。講習は、インストラクターとして実際にプロバイダーを養成することを中心に行い、さらに、酸素の運搬や保管についても詳しく扱います。教育実践と講習方法、更新のための基準などが中心です。6～8時間程度のコースです。有効期間は2年間です。

<酸素プロバイダーコース>

ファーストエイドや CPR の基礎を学んでいる人に対して、水に関する事故で酸素を補助に使うファーストエイドを行う資格を付与するコースです。

水辺での事故では、呼吸ができないために体内に酸素が取り入れられず、死に至ることが考えられるため、気道確保と酸素化が重要です。このコースでは、座学と実技を中心に、いざというときに傷病者に酸素を補助にしたファーストエイドを行う方法をシナリオ形式で指導します。6～8時間程度のコースです。有効期間は2年間です。

この資格を取得するには前提となる条件を満たす必要があります。ファーストエイド (FA) や CPR ができることも条件の1つです (FA や CPR はこのコースに並行して行うことも可能です)。また、各コースでは、教材や講習に費用が発生します。受講を希望される方は、**(一財) 社会スポーツセンター・酸素ファーストエイド普及委員会** までご連絡ください。

2018.10.01

ウォータースポーツのための酸素ファーストエイド

「酸素ファーストエイド」の資格

	資格名	受講最低年齢	有効期限
1	酸素ファーストエイドトレーナー	満 20 歳	取得日から 2 年間
2	酸素ファーストエイドインストラクター	満 18 歳	取得日から 2 年間
3	酸素ファーストエイドプロバイダー	満 16 歳	取得日から 2 年間

酸素ファーストエイドトレーナー資格取得のための前提条件

- マリンスポーツ、ウォータースポーツの指導者育成の経験を有する者
例：大学教員、各種マリンスポーツ団体のインストラクター養成に携わっている者、ウォータースポーツ指導育成担当者等
- 満 20 歳以上の者
- 救急法（ファーストエイド）、心肺蘇生法（CPR）の有効な資格
- 酸素ファーストエイドインストラクター資格を有すること

酸素ファーストエイドインストラクター資格取得のための前提条件

- マリンスポーツ、ウォータースポーツの指導を行っている者
例：水泳指導者、サーフィン指導者、ダイビングインストラクターなど
- 満 18 歳以上の者
- 救急法（ファーストエイド）、心肺蘇生法（CPR）の有効な資格
- 酸素ファーストエイドプロバイダー資格を有すること

酸素ファーストエイドプロバイダー資格取得のための前提条件

- 一般の者で、ウォータースポーツ、あるいは、水にかかわる活動で溺れ等に対する酸素を使った救急救命処置を身に着けようとする者
- 満 16 歳以上の者
- 救急法（ファーストエイド：FA）、心肺蘇生法（CPR）の有効な資格
(酸素インストラクターが FA、CPR を指導できる場合があります。)

講習内容・時間の概要

資格名	内容	講習時間	講習費
酸素トレーナー	資格の基準の解説、指導者育成の方法、育成のシミュレーション（実技）、酸素取り扱いの国内法の詳細等をワークショップ形式で実施	約 6 時間	41,000 円/1 名 講習費・教材費・認定料を含む*
酸素インストラクター	インストラクターおよびプロバイダー基準の解説、プロバイダー指導の方法、シナリオによる実習、酸素取り扱いの国内法の概要等	約 6 時間	38,000 円/1 名 講習費・教材費・認定料を含む**
酸素プロバイダー	CPR の復習、酸素を補助に使うファーストエイドで必要な知識、シナリオによる実習、酸素を扱う際を守るべき注意等	約 4～6 時間	酸素トレーナー、インストラクターにお問い合わせ下さい

(税別)

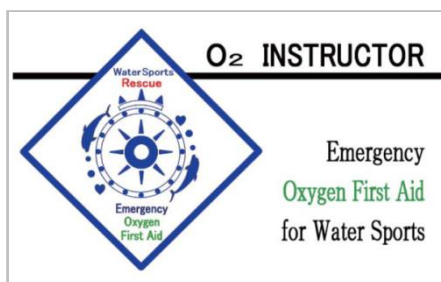
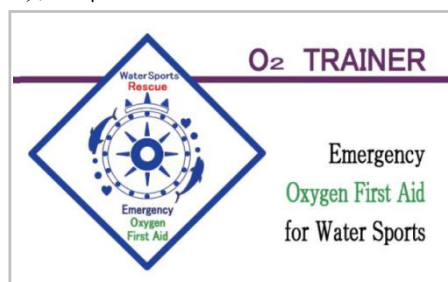
* (一財) 社会スポーツセンターで実施する場合の目安

最少催行人数は、1 名です。

** (一財) 社会スポーツセンターで実施する場合の目安

最少催行人数は 3 名です (12 名まで)

カード



社会スポーツセンター 酸素講習指定器材



酸素吸入救急蘇生セット



●酸素吸入救急蘇生セット内容

- ・シリコンレサシテーター・シリコンマスク成人用大
- ・シリコンマスク成人用中・酸素チューブ
- ・中濃度用酸素マスク・高濃度用酸素マスク
- ・酸素カニューラ・エマジンダイヤル式減圧弁
- ・減圧弁用ハンドル・アルミ酸素タンク（2L）
- ・ソフトクリアケース・エマジンソフトケース

品番

品名

酸素吸入救急蘇生セット

LSP 減圧弁 ヨーク型 プロテクタ付



●ショックに強いプロテクターをゲージに装着

内部・外部ともにオールプラス（真鍮）タイプ
酸素流量設定ノブはボディ端のへこんだ部分にあり、誤って回転し流量設定が変わることがない。
ミニカプラ 2 個付き

品番

品名

LSP 減圧弁ヨーク型 プロテクター付

モニター



●100%酸素を投与できます

- ・自発呼吸が起こった場合、マスクを装着すると、吸引圧に応じて自動的に酸素を供給。
- ・6kPa 以上の圧力で送気は停止し、再度トリガボタンを押すと送気を再開する安全機能搭載付き。
- ・駆動酸素がなくなると外の空気を取り込む安全機能

品番

品名

モニター